

学校の教育目標

自ら動く

校訓

学ばん共に進まん共に

目指す学校像

教師が学び、子どもが伸びる岐南中に！

学校の課題

- 意欲的に取り組める授業作りと家庭学習
- 「主体的に学習に向かう態度」の育成
- 人権意識・行動力の高揚
- 「思いやり」「奉仕」の心を育む
- 心の安定を図る
- 安心して自分のよさが出せる集団の醸成

目指す生徒像

学ぶ・見つめる・挑む 生徒

揺るぎない自分を確立する

「私は、〇〇(生き方)ではだれにも負けない(まんざらでもない)」

可能性を追求する「まだ見ぬ吾への挑戦」

仲間と共に生きる「私はこの仲間となら、きっと頑張れる」

羽島郡の方針

- 様々な関わりの中で学び、社会の一員として貢献できる社会人の育成
- ◇家庭・社会の期待に応え、夢と自信をもち、可能性に挑戦するために必要な力の育成
- ◇個性や能力を発揮して活躍し学び続ける、活力と連帯感のある人づくり

指導の重点

研究主題

主体的に学ぶ生徒の育成～協働的な学びを意図的に取り入れた、自己の学びを実感できる学習活動の工夫～

①誰もが「大切にされている」と実感できる安心・安全な学校づくり～あいさつは心をつなぐ、そうじは心を磨く、聞くことは心を育む～

- 寄り添う生徒理解に基づいた、「生き方」の願いづくりと、活動の意義や意味を明確にしながら、「めざす自分」の達成と見届け願いをもって「めざす自分」に立ち向かう。認め励まし、「生き方」のねうちを褒めて位置付ける
- 人を大切にし、仲間との関わりの中で、自分のよさを発揮する。自らの力を最大限に伸ばそうと努力を重ねる
- いじめを見逃さない姿勢と体制⇒指導ラインの徹底による即時対応・即時解決(誰もが自分事として捉えられる学級指導)
- 教育相談体制・不登校対策の改善⇒ケース会議の迅速な実施、早期からの進路相談、VR岐南中の推進
- 3者懇談での自己成長プレゼン「生徒のキャリア形成サイクル」(2者懇談で方向付け⇒実践⇒3者懇談プレゼン、認め励まし)
- 防犯防災・交通安全に対する危機管理能力の向上。「命を守る訓練」、「交通安全教室」⇒危機管理マニュアルの正しい理解
- 不祥事根絶と同僚性の発揮⇒毎月のコンプライアンスチェック、メンター会議幼保小中の円滑な接続を図る
- 教育支援(特別支援教育)態勢の充実⇒UDと就学前支援情報の適切な把握に基づいた支援の充実

②主体的に学ぶ学習・授業づくり ～「授業づくりは、学校づくり」～

- 学習目標を明確にもち、見通しを立てて学習に取り組み、学力を身に付ける。学ぶ過程で人と関わり、知識・技能を活用し探究的に考え、深い学びを獲得し、持続可能な社会の創り手となる、学び続けようとする能力、態度を身に付ける
- 授業研究の充実
- 各教科の鋭角的主張と子どもの姿で示しきる授業
- 思考のためのツールの活用(電子黒板、タブレット、ホワイトボード等)→授業と家庭学習をつなぐ
- 全校研究授業(年3回)、全職員授業公開(各部研)「授業見学プラン」の実施(授業におけるOJT)
- 定期考査前学習会 全国学力学習状況調査対策

③「仲間とのかかわり合い」が実感でき、自浄力・自治力を高める行事、学級・学年・生徒会活動づくり ～「みんなで創る」～

- 集団としての学び方やルール、学習環境等について自治的に考え実践し、仲間と成果を認め合う
- 生徒会の自治的な活動～日常の取組・生徒の手による、よさも課題も言い合える集会(自浄力の育成)
- 学校行事や日常活動に新しいアイデアを生かしながら自主的に取り組む
- ⇒日常生活の高まりと仲間とのかかわりを結び付けた学級・学年づくり⇒校訓に照らした指導

④「役に立っている」と実感でき、頼りにされる学校・生徒と地域の関係づくり

- 地域行事を核としたボランティア活動の充実
- 総合的な学習の時間の「岐南中プログラム」を軸とした生き方指導の充実
- 地域とつながり、未来の岐南町の在り方を考え、地域とかかわりながら生きる自分の姿を描くことができる
- 地域ボランティアの紹介と価値付け・キャリア教育や職業講話等で地域の方から学ぶ

《岐南中人権宣言》

- 1 差別・偏見をなくします
- 2 思いやりと安心を大切にします
- 3 社会や誰かのために自ら動きます

岐南中4本柱

(自ら) あいさつ

(黙働) 掃除

(克己) 合唱

(主体的) 学習

各学年の学校組織マネジメントの充実

徹して子供に寄り添う

資質向上のための働き方改革

■保護者や地域に愛され、信頼される学校

- ・生徒のよさを積極的に発信(学校HP、学年・学級だより、電話など)
- ・学校評価(PDCA)結果の積極的公開と改善の確実な実施
- ・学校運営協議会(CS)を核とした地域人材の積極的な活用、地域のための活動の実施
- ・関係諸機関との日常的な連携強化